

※（実践事例集原稿）

学 校 名	大 宮 小 学 校			
活 動・行事名	ボランティア体験	対象	第 3 学 年 参加者 1 5 1 名	
活 動・行事のねらい	○ 障害のある人の話を聞いたり、アイマスク体験や車いす体験や点字体験を行ったりすることで、視覚障害や肢体不自由について理解を深め、相手の立場や気持ちを尊重し、誰にでも親切にしようとする態度や心構えをもつことができるようにする。			
活動までの準備や事前指導	<p>準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講師の方と事前打ち合わせをした。 ○ 車いすを借りに行った。 ○ 朝の時間に体育館の用具配置等の準備をした。 <p>事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講師の方へのマナーを事前に指導した。 ○ 講師の方への質問内容は、前もって児童に考えさせておく。 			
活 動 の 内 容				
	日 時	活 動 場 所	活 動 の 内 容	活 動 の 様 子
第 1 回	平成 18 年 3 月 2 日	体育館	<ol style="list-style-type: none"> 1 視覚障害者の話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の中で困ること ・ 楽しみなこと ・ 出かける時に困ること ・ 私たちにできること 2 質問・感想 3 感想をまとめる。 	○ 視覚障害者の話を聞くことで、視覚障害者に対する考え方や、日常生活の中で自分たちができることを気付くことができた。
第 2 回	平成 18 年 3 月 6 日	点字～各教室 アイマスク・車いす～ 体育館	<ol style="list-style-type: none"> 1 体験活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点字 ・ アイマスク ・ 車いす 2 質問・感想 3 感想をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 点字では、読みとることに時間がかかり難しかったようだが楽しんで活動していた。 ○ アイマスク体験では、見えない活動が少し恐かったようだが援助の大切さを学んだようだ。
成 果 と 課 題		〔 車 い す 体 験 の 様 子 〕		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際の体験を通して講師の方が教えてくださることで、疑問や問題をすぐにその場で解決できるので分かりやすく学ぶことができた。また、障害者の立場に立って気付き、考えることができて良かった。 ○ 親子で共に活動すると、さらに福祉教育に対する考えが深められたと思う。また、時期を早めて、他教科や道徳との関連を考えてさらに意識の深化を図ることができると思う。 				